

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道156号 <small>やまとかいりよう</small> 大和改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県郡上市大和町剣 至：岐阜県郡上市白鳥町中津屋	延長	2.6 km		
事業概要 一般国道156号は、岐阜県岐阜市を起点とし関市、郡上市等を経由して富山県高岡市に至る延長約210kmの幹線道路であり、岐阜県内及び東海地方と北陸地方の交流・連携や産業・経済及び観光等を支えている。 大和改良はこのうち岐阜県郡上市大和町から郡上市白鳥町に至る延長約2.6kmの道路で、災害に強い道路機能の確保及び冬季を中心とした交通安全の確保を目的としている。					
H元年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H13年度用地着手	
H20年度工事着手					
全体事業費	78億円	事業進捗率	71%	供用済延長	-km
地域の防災面の課題 ・国道156号現道は切り立った急斜面沿いの区間を通過しており、平成22年度道路防災点検で落石崩壊などの危険箇所が10箇所存在。 ・平成11年9月の長良川増水時には路面流出により16日間の通行止めが発生。 ・このため、郡上市大和町地区（人口約7千人）の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、郡上市からも改善の要望が出されているなど地域の喫緊の課題となっている。					
課題を踏まえた対策・事業内容 ・現道区間においては急峻な地形で危険箇所が複数存在し、抜本的な防災対策が困難な状況であるため、現道を迂回する別線を整備（バイパス）。					
事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （98億円（残事業=98億円）） ○災害による被害の回避 ・災害時の通行止め時における観光損失の減少（1.5億円） ・災害時の通行止め時における救急医療機関へのアクセスの確保（0.2億円） ・緊急施設（消防署・警察署）からのアクセス時間の短縮により消防・防犯活動の向上が期待 ○地域住民の不安感の解消 ・災害時の通行止めに対する不安解消（0.8億円） ・災害時の輸送路確保により災害復旧活動部隊等の支援を確保			費用 （残事業）/（事業全体） 30/91億円 事業費：19/79億円 維持管理費：11/11億円		
関係する地方公共団体等の意見 岐阜県知事の意見： 対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。 なお、今後の事業の実施にあたっては、県内における他の道路事業の進捗状況を勘案のうえ、本県への十分な協議を早期にさせていただくとともに、コスト縮減の徹底をお願いします。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成9年11月に東海北陸自動車道が白鳥ICまで開通（平成20年全線開通）。 ・平成16年3月に沿線の大和町や白鳥町、八幡町などが合併し「郡上市」が誕生。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成20年度に工事着手し、用地進捗率99%、事業進捗率71%となっている。 残事業の内容（道路改良 780m、橋梁 414m 等）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、郡上市大和町方場～郡上市白鳥町中津屋間の2.2kmの平成27年度の完成供用に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等					

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

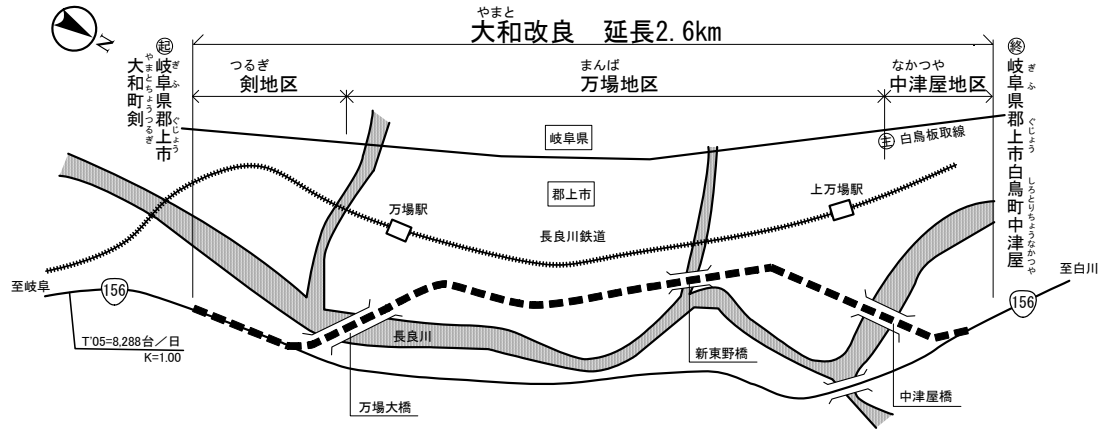
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図



- ※ 1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※ 2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。